

2015年11月1、3日

船越紫記



11月1日～3日の大学祭(恋都祭)期間中に、奈良女子大学理学部による企画「サイエンスオープンラボ」が開催されました。



このサイエンスオープンラボは理科・数学(算数)の楽しさや理学部の楽しさを小中高校生やその保護者の方々を中心とした地域の皆さんに知っていただくための企画として、毎年開催されています。

この企画では教員だけではなく理学部の基礎的な知識を身に付けた学生が参加し、数学科・物理科学科・化学科・生物科学科・情報科学科・環境科学コースに分かれてパネル展示・解説・体験実験・展示などが行われていました。

時間帯にもよりますが、非常に多くの方が来られていて大盛況でした。やはり小学生と保護者の方が来られているというのが一番多かったのですが、中には友人同士で来ている人たちもいました。年齢も中学生から大学生まで様々です。

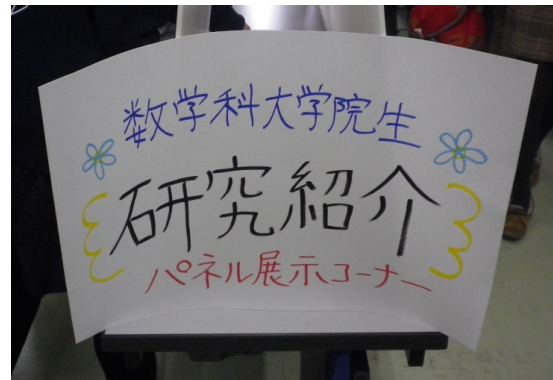
今回見学させて頂いた数学科では、講義・体験・展示などがありました。

幾つかのブースがありそこでいろいろな体験ができるのですが、様子を見てみると、小学生だけが体験に参加しているという感じではありませんでした。来られていた保護者の方々も一緒になって体験をしている姿が至る所で確認できました。





部屋の真ん中は、数学科の大学院生による研究紹介のパネル展示のコーナーです。



パネルを見に行くと、大学院生がわかりやすく説明をしてくれるというシステムです。2日間のうちで一度だけですが、保護者の方がパネルに書かれてある内容を読み取って、子どもたち（小学生）に説明をしている場面を見かけました。子どもたちも真剣に聞いて、質問もしていて、驚きました。

学校の授業やこのような企画に参加するだけで終わらず、身近にいる大人が科学的なものに興味を持ち、考えたり説明をしたりする姿を普段から目にするには、科学的なものへの興味・関心を育てる上で非常に大きな影響力があるのではないかと感じました。



また、今回入り口の近くに長机ひとつ分のスペースを頂き、CORE of STEM（理系女性教育開発共同機構）で過去に発刊した、LADy SCIENCE BOOKLET を置かせていただきました。

BOOKLETには少し高度な内容が書いてあるので、高校生以上の内容になっています。

今回のサイエンスオープンラボ

は、おそらく参加者は小学生が多いだろうということでしたのでそんなにたくさんは持って行かなかったのですが、サイエンスオープンラボ開始から1時間で、おいていたBOOKLETがほとんどなくなってしまいました（!）。

なので、急遽大量に追加しました。



小中高の教員の方や保護者の方々だけでなく、中学生・高校生でも興味を持ってくれた人たちがたくさんいました。

参加者の皆さんの科学についての関心の高さを感じることができた2日間となりました。